

東白川村 美しい村づくり 委員会

第 24 回

○場 所：ふれあいサロン

○時 期：平成 30 年 4 月 25 日 19:00~21:00

○参加者：委員 6 名 一般参加 3 名 行政 4 名

第 1 神付地区 集落あるもの探しについて

1 参加者の感想

- (1) 案内役の方から歴史のことをいろいろと聞くことができてよかった。また、境谷の処刑場跡はおどろおどろしい雰囲気があると思ったが、意外とそうでもなかった。
- (2) 冷泉が沸いている場所があることを聞き、地域の可能性を感じた。
- (3) 新しい発見はなかったが、知らない人からすると興味深いのではないかと感じた。
- (4) 尾比良山が生活資源の源であると感じた。
- (5) 家の佇まい（ぽつぽつと建っている感じ）が田舎っぽくて良い。
- (6) 風を感じる。空が開けている。
- (7) 初めて歩いてみてジワーンとしたよさを感じた。
散歩・散策するには良さそう。

第 2 健康で持続可能な暮らしについて

私たちの身近な取組みはどのようなものがあるか、アイデア出しを行いました。2グループ（各 4 人）に分かれて模造紙（図 1）にキーワードを貼っていき、グループ発表をし、話し合いを行いました。

1 出てきた意見

- (1) お茶や米ぬか、栓のおがこを使ってハーブボールが作れないか構想中。温熱療法が家やサロンでできたらいいと思う。
- (2) 村にはシロモジが多いと聞き、何かに使えないか？

(昔は、杖や油の原料として利用されていた。)

- (3) 自宅でアロマテラピーなどを行っており、その経験生かして蚊取り線香を手作りしたい。

2 高野教授より豊田市の事例紹介とコメント

人が集まる場で、やりたいことを人に話していくと、周囲の人が様々な情報を教えてくれます。豊田市のある地域では移住者さんなどが月1回集まる会があり、女性の方が「お菓子作りをしたい」と話していると、使われなくなった幼稚園をお菓子作りの場として利用できるようになり、お菓子を販売するまでにいたっています。

やりたいことを人に話すことが大切です。この委員会がそういう場になると良いですね。そして、お母さんたちの小さなビジネス作りも大切です。それが地域活性化につながります。

第3 (有) 島崎電機製作所跡地 (旧越原中学校校舎) の利用の可能性について
旧越原中学校校舎を(有) 島崎電気製作所が借りて利用していましたが、前年度に引き払われた為、現在利用者が不在の状態となっています。この建物は木造の部分が多く残し趣があり、年配の方の思い出も色濃く残っている佇まいです。そこで、委員会でこの施設の利用の可能性を話し合いました。

1 建物の状況

- (1) 耐震性がないため、公的施設としての利用はできない。
- (2) 自己責任での利用となる。
- (3) ランニングコスト (水道・光熱費など) がかかる。
- (4) 賃料が発生する (金額は検討中)。

2 意見

- (1) コダマプロジェクトの展示販売。
- (2) 宿泊体験ができる場所。
- (3) フリースクールや塾のような場所。

3 高野教授による豊田市「つくラッセル」の事例紹介

周りを山に囲まれ廃校となった小学校の校舎を利用し、自治区の住民が

市と契約し利活用していました。その後、地域活動の担い手、自治区、名古屋大学、東京大学、豊田市で構成された団体に運営しています。

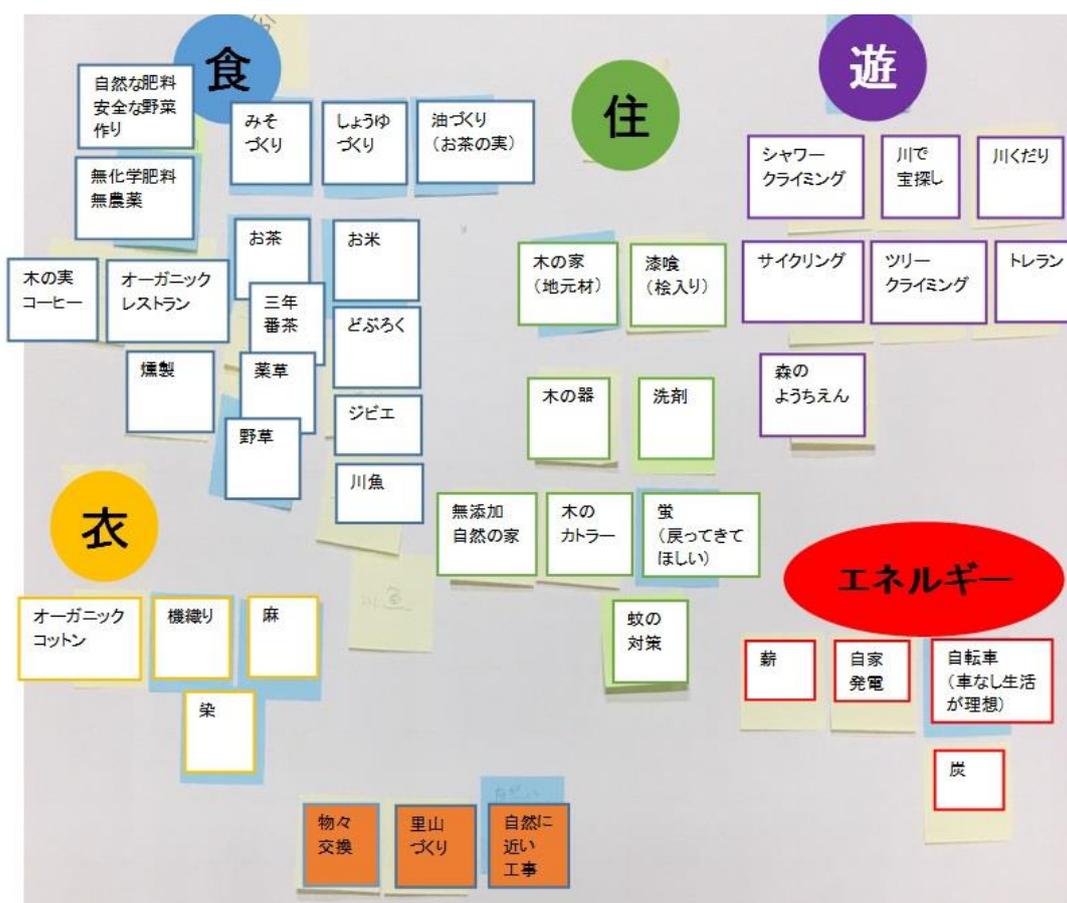
「みんなの場」として活用が開始され、「子供向け理系ものづくりキャンプ」、「地域スモールビジネス研究会」、インターネット環境を整えた木工のシェア工房、電気工作の工房として活用されています。また、つくラッセルでやることは地元（自治会）で協議して決めています。

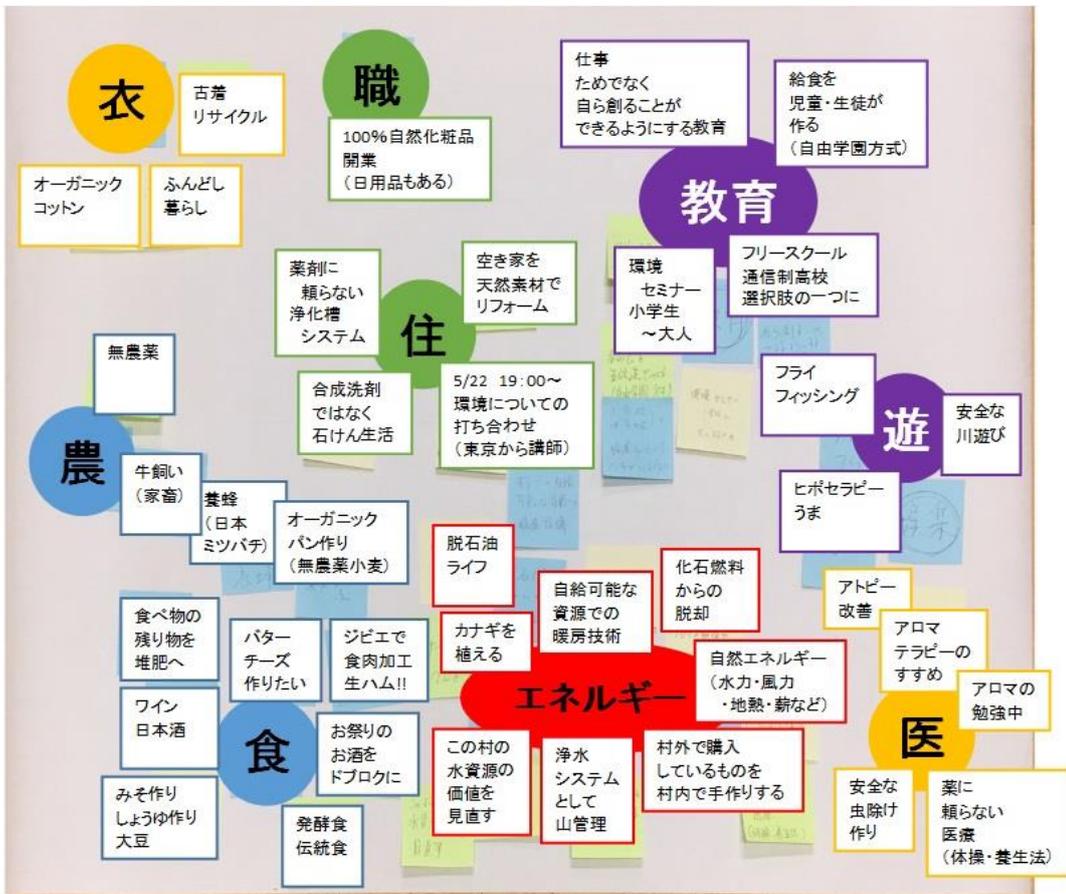
4 今後

利用方法についてはじっくり検討していきます。まずは4月25日（水）に施設の見学を行います。

以上

図 1





様子↓



